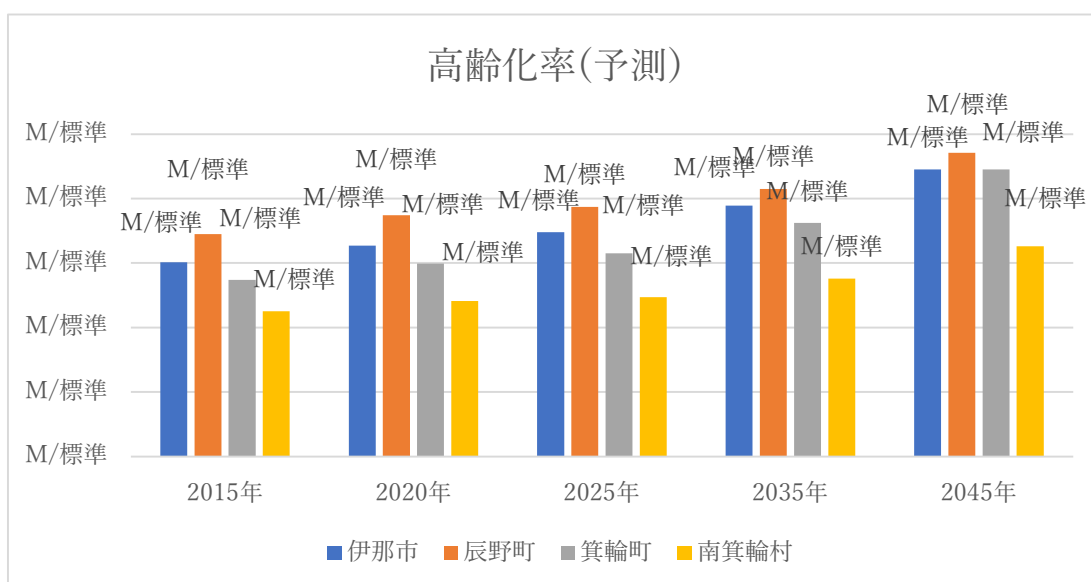
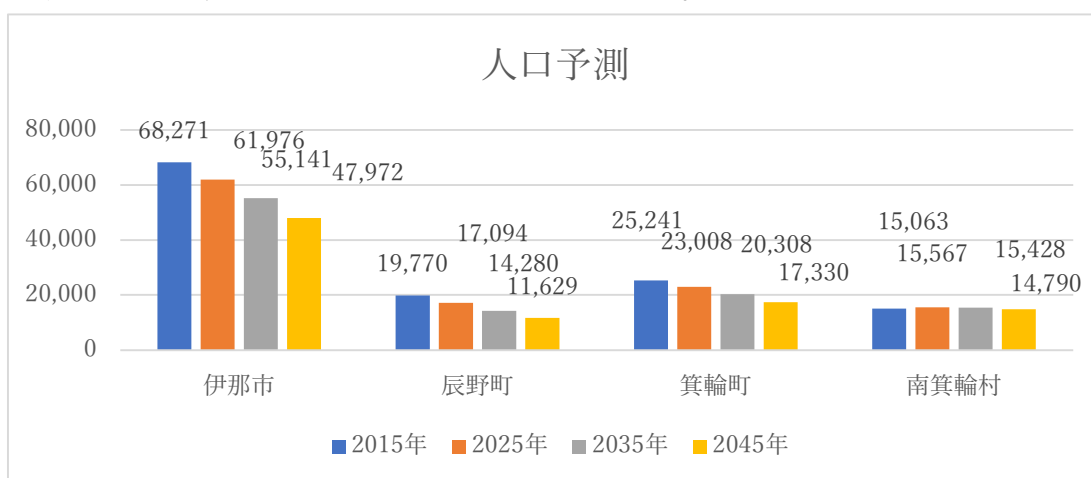


令和3年度事業計画

人口減少、少子高齢化が進行する我が国は、高齢化率が既に28.1%に達しており、令和7(2025)年に30%、令和47(2065)年には40%に近づくことが見込まれています。伊那広域シルバー人材センター管内の高齢化率(令和2年10月1日再掲)は、伊那市が32.1%、辰野町が37.9%、箕輪町が29.6%、南箕輪村が23.8%となっており、全体では31.3%となっています。今後益々人口減少が進み、かつ高齢化が進展していくこととなります。



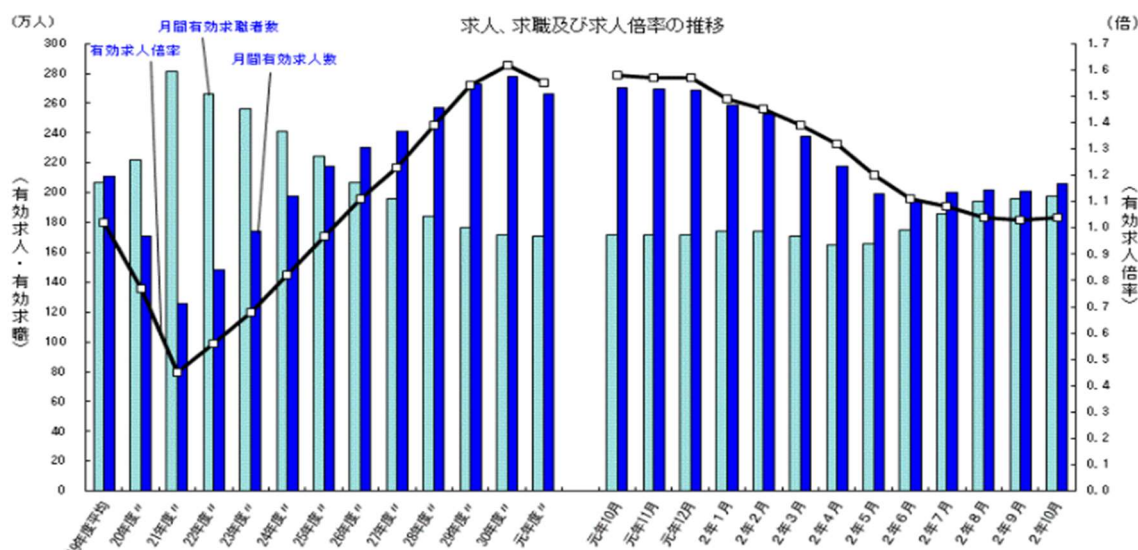
総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口
 総務省 住民基本台帳に基づく人口予測

一方、最近の労働力調査11月分によると、就業者数は6,707万人で前年同月に比べ55万人の減少で、8カ月連続の減少となっています。雇用者数は6,017万人で、前年同月に比べ29万人の減少で8カ月連続の減少となっています。完全失業者数は195万人で前年同月に比べ44万人の増加。10カ月連続の増加でした。完全失業率（季節調整値）は2.9%で前月に比べ0.2ポイント低下しています。

	年平均			月次（季節調整値）			
	2017年	2018年	2019年	2020年8月	9月	10月	11月
完全失業率	2.8%	2.4%	2.4%	3.0%	3.0%	3.1%	2.9%

しかしながら、コロナ禍の情勢化、緊急事態宣言が発せられる等感染拡大に止めがかからない状況です。12月には3%となるなど、今後さらに悪化することが懸念されます。

一方雇用情勢に目を転じると、有効求人倍率は1.04倍と、かろうじて1倍は維持しているものの低下傾向にあります。



こうした中であって、令和2年度の伊那広域シルバー人材センター事業は、コロナ禍の影響もあり、前年比、発注件数、契約金額及び配分金において減少しました。

令和3年度においては、先ず、会員拡大に重点を置かなければならない状況です。会員を一定数確保することによって、地域社会の課題解決の担い手として期待されている、「福祉・家事援助サービス事業」、「介護予防・日常生活支援総合事業」、「空き家管理対策事業」、「放課後児童クラブにおける育児支援」などを推進出来ることとなります。

特に、女性会員の拡大を重点とするとともに、ハローワークと連携し、企業の退職（予定者）層への働きかけ等を強化するなど、対象を絞った取組等によ

り会員拡大を図ることとします。

具体的には、次の事項を重点として事業を展開します。

○ 女性会員及び就業先の拡大

地域の期待に応えるためには、会員の拡大が不可欠であり、会員の拡大に当たっては、高齢者人口の男女割合等からみて拡大の余地が大きい女性会員の拡大に重点的に取り組む必要があります。

また、女性会員に特化した事業展開が求められており、女性班を中心とした活動の支援を推進することとします。

○ 多様な働き方の推進

高齢者の多様な就業ニーズに応じていくには、センターの根幹事業である請負就業に加えて、労働者派遣や職業紹介による働き方を推進します。

なお、就業時間拡大の特性を生かした、労働者派遣事業の拡大を図っていきます。

○ シルバー人材センターの「適正就業ガイドライン」の遵守

従来慣行から続く不適正な請負契約における就業、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務」に係る就業の範囲を著しく逸脱した就業、これらを是正し、派遣事業への切替えを図っていきます。

○ シルバー事業の推進に向けた関係機関との連携

会員拡大を図る上でも重要な、ハローワーク等関係機関との連携及び福祉協議体へ参加する中で、社会福祉関係団体等との連携を強化することとします。

○ 安全就業の推進

年々、事故が多発する傾向にあります。「安全は総てに優先する」をモットーに組織を挙げての安全対策により一層の推進を図り、重篤事故など傷害事故の撲滅を図ることとします。「他人ごと」ではなく、「自らのこと」として認識するよう、安全意識の徹底とその高揚を図ります。

併せて、発注者や第三者に危害・損害等を与えることとなる損害賠償事故の撲滅を図ります。

具体的実施事項

1 会員の拡大

(1) 入会促進の取組

- ① 会員による1人1会員入会活動の実施
- ② 入会説明会の説明内容の見直し
 - ① 入会希望者に対する、適正かつ迅速な入会承認及び就業機会の早期提供



令和2年11月25日（水）、渋谷区シルバー人材センターは天皇皇后両陛下の行幸啓を賜りました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインによるご視察となりましたが、両陛下は、木製家具の再生や販売の様子をビデオでご覧になり、就業している会員にお声かけをいただきました。

- ④ シルバー派遣事業の拡大及び高齢者活躍人材確保育成事業の活用による新規会員の確保
- ⑤ 新総合事業及び福祉・家事援助サービス事業等への参入による女性会員の確保
- ⑥ 放課後児童クラブにおける育児支援事業への参入による新規会員の確保

⑦ 地域特性を活かした独自事業の実施による新たな就業機会の確保

(2) 魅力あるセンターづくり

- ① ホームページの活用によるシルバー事業の紹介
- ② ボランティア活動やイベントへの参加を通じたセンターの紹介
- ③ 会員同士の交流

2 就業機会の拡大

- (1) 会員による1人1仕事開拓
- (2) シルバー派遣事業の拡大
- (3) 過去の発注先への訪問
- (4) 新総合事業及び福祉・家事援助サービス事業への参入
- (5) 空き家管理対策事業への参入
- (6) 放課後児童クラブにおける育児支援事業への参入
- (7) 企業と協同した職種の開拓・開発
- (8) 社会福祉関係団体及び業界団体等との連携

3 安全就業の推進

(会員の安全意識の徹底)

- ・ 会員の事故防止意識の緩み、就業における体調管理
- ・ 作業に適合した服装、履物、保護具等の着用
- ・ 作業におけるヘルメット、墜落制止用器具（安全帯）の適正な着用

(センターの安全対策の徹底と体制の確立)

- ・ 安全就業に関する基準の策定と遵守の徹底
- ・ 安全委員会の機能の強化

(感染防止対策の徹底と健康の確保)

新型コロナウイルス感染症は高齢者ほど重篤化しやすいと言われている。

このため、全シ協で発行する「いくつになっても元気で働ける会員の為の就業ハンドブック(仮称)」を活用し、フレイル予防を含め会員の健康確保に努めることとします。



4 適正就業ガイドラインに沿った事業運営

- (1) 適正な請負事業となるよう契約内容を見直します
- (2) シルバー派遣事業や職業紹介事業に切り替えます
- (3) 適正就業に抵触するものは、現契約を解約する、派遣・職業紹介のいずれかの是正措置をとることとします

5 シルバー派遣事業

- (1) シルバー派遣事業の拡大
- (2) 同一労働同一賃金への的確な対応

6 成長分野における請負就業

- (1) 福祉・家事援助サービス事業の展開
- (2) 新総合事業の展開
- (3) 空き家管理対策事業の展開
- (4) 放課後児童クラブにおける育児支援の展開

7 関係機関・関係団体との連携強化

ハローワーク等関係機関との連携強化を図り、連絡会議の設置、高齢者の雇用・就業施策及び各種セミナー開催等の相互取組により、会員拡大及び就業機会の拡大等のシルバー事業の更なる推進を図ります。

また、各地域の業界団体、中小企業団体及び介護・福祉関係の社会福祉関係団体との連携強化を図り、センターの活用について積極的な働きかけを行います。

す。



8 社会参加活動の推進

センターは、生涯現役社会の実現に対応し、シルバー事業において量的な受入体制の拡大、多様な選択肢に対応できる雇用・就業を始めとする社会参加活動の領域の拡大等、地域における高齢者のためのワンストップサービスセンターとして、次のような役割を果たすことが求められています。

- (1) 雇用・就業、職業能力開発、ボランティア活動、自営、起業、就農等に関する情報の収集・提供や相談機能の充実
- (2) 高齢会員の生活環境に合わせたボランティア活動への参加や、趣味を生かしたサークル活動など「できることを」「できる範囲で」行う社会参加活動

9 事業運営基盤の強化

中長期の財政見通しに基づき自律的に運営基盤を強化するとともに、高齢者の活躍の場を拡大するために、以下の事項を計画的に推進します。

- (1) 事業運営の効率化
 - ① 業務執行体制・組織の活性化・最適化
 - ② 事業運営の簡素化・効率化
 - ③ コロナ禍におけるITC(情報技術コーディネーター)の活用
- (2) 事務職員のキャリアアップ
- (3) 普及啓発活動の展開
- (4) 年間を通じた広報活動の展開
- (5) 自主財源の確保
- (6) 会計処理体制の確立と会計処理の適切化

その仕事、シルバー人材センターにおまかせください



10 会員互助のための制度検討について

互助会が解散してから、8年余となりました。この間一部地区で互助会を維持してきたところですが、これも一昨年解散しました。解散の要因は、財政的なこと、役員のみなり手がなく、事務作業が煩雑等でした。

規約を作り、その規約に沿って運営していくことは、なかなか困難なことと考えますが、近隣のシルバー人材センターで、互助会のないところは少数派となっています。

ちなみに駒ヶ根・伊南シルバー人材センターでは、互助会費年500円で、忘・新年会の開催、作品展の開催、親睦旅行の企画運営、ボランティア活動の企画運営、サークル活動(6サークル)への補助等となっています。

互助会の総会は、定時総会後に開催しているようです。

このような情勢化、伊那広域シルバー人材センターでは、緩やかな組織として、次ページのイメージ図を考え理事会に提案してあります。しかしながら、会員それぞれの意見集約が出来ていません。

このことから、拙速な結論を出さず1年間をかけて検討していきたいと考えています。

ポイント

会員会費を年2,000円とする、1,000円を互助制度に活用する、よって、年間納入金額は、会費と互助制度併せて3,000円となります。